

令和4年度 学校だより

12月号

横浜市立上郷小学校



上郷

〒247-0026 横浜市栄区犬山町6番1号 電話 045-894-0761

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamigo/>

ありのままがいい

学校長 海津 善宜

いよいよ師走、今年のカレンダーも残り一枚となりました。上着を一枚羽織っても、朝晩の冷え込みがめっきり厳しくなり、校舎の4階の窓からは美しい富士山を眺められるようになりました。2学期は、1・2年生の遠足、3年生の音楽交流、4・5年生の宿泊体験学習、6年生の修学旅行を予定通り実施することができました。11月11日に行われた上郷音楽会では、各学年とも練習の成果を発揮し、心が温まる歌声と演奏が体育館に響き渡りました。1年生から6年生まで通して観ると、子どもたちが6年間で成長する姿を肌で感じることができました。

さて、先日の新聞記事に「俺は、キムタクになれないが キムタクも俺になれない」という文字が目に入りました。これは、芸能人の木村拓哉さんが織田信長役で登場し、注目を集めた岐阜市の「ぎふ信長まつり」の時期に合わせ、県内の寺院前に掲示されたものです。住職によると、「俺は、キムタクには…」は、オリジナルではなく、知人が10年ほど前に飲食店で見かけたもので、「おごったことでなく、そのまま生きていけばいい。キムタクになる必要はない。自分の命をそのまま大事にしていけばいい。」という意味で掲示したそうです。その上で「俺は、キムタクには…」と向き合うと、「自分は、誰とも代わりの利かない存在で、周りと比べる必要はない。ありのままがいいのだ。」言い方を変えると「誰かになる必要はありません。あなたはあなたでいいのです。」という掲示板のメッセージに込められた思いを強く感じました。掲示板にある「俺は、キムタクになれないが キムタクも俺になれない」の横には、こうも書かれていたそうです。「誰とも代わりのきかない 尊いいのちを生きている」

上郷小学校では、12月1日から人権週間が始まります。子どもたちには、一人ひとりの違いを認めたり、自分や友だちの好きなところをたくさん探してみたり、自分はかけがえのない存在であることを確認しながら、「自分らしく生きる」権利について考える機会にしてほしいと思っています。

今年も、新型コロナウイルスと向き合いながら、何とか教育活動を進めることができました。これも、苦しい状況にもめげずに頑張っている子どもたちはもちろんのこと、保護者や地域の方々のご理解とご協力のおかげだと思っています。来年も子どもたちの笑顔があふれる学校づくりに努めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。

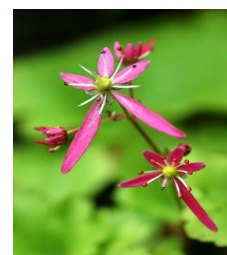


皆様が笑顔で年を越し、笑顔で新年を迎えられるよう心よりお祈り申し上げます。

～やそうえんだより～

「野草のなまえ」

11月22日には、二十四節気の小雪(しょうせつ)を迎え「寒くなって雨が雪になる」季節となりました。学校の野草園では、秋の花に変わって白い花をつける冬の草花が咲き始めました。野草の名前は、その姿かたちや特徴が呼び名となっている場合が多くみられるようです。今回紹介する「ダイヤモンドソウ」もまさに見たままの花の形がなまえになっています。見過ごしてしまうような小さな野草であっても、すべての草花には「なまえ」がつけられています。野草園の花をていねいに観察していると、「雑草」とひとまとめにはできない愛らしさを感じます。



ダイヤモンドソウ